

増えるばかりの超過勤務手当(残業代)！ 20年度は6億2800万円にも…。



右の表は過去5年間の超過勤務手当・時間及び職員数の推移です。

職員数2000名体制を削減が進む中、超過勤務が増え続けています。この5年間で、超勤額は1億2600万円、時間にして3万5000時間増えました。

必要最小限の時間で最大限の効果を挙げることは言うま

でもありませんが、この問題は、コストの面、健康の面、本人や命令を出す上司の意識の面、さらには仕事の量と質などが複雑に絡みあっています。ちなみに一番高い職員の超勤手当は1時間あたり3280円です(時間あたり1.25増し)

増え続ける超過勤務について、私は平成19年の第三回定例会の一般質問でも取り上げ、石神副区長は「毎年5%削減という数値目標を全庁的な目標としている」と答えました。今回、私が「削減どころか、逆に増加している現実、ナンバー2の地位の方が公言したことが全庁的に守られていないことに対してどのように思われるか」と訊いたところ、同副区長は増えたのは臨時の仕事、緊急な仕事によるもので、もともと5%削減とは経常的な仕事を指して言ったものだと言いました。公の地位にある者が、このような言を弄(ろう)して良いものでしょうか。真剣に質疑を行う議会をないがしろにするものだと言います。

年度	超勤額	超勤時間	職員数
20	6億2800万円	18万9000時間	2496人
19	5億8600万円	17万8000時間	2610人
18	5億4500万円	16万7000時間	2709人
17	5億8700万円	17万9000時間	2783人
16	5億 200万円	15万4000時間	2870人

(2) 中野納税貯蓄組合について

本人に無断で 名簿に名前を記載

信じられない
ことだ!



昭和27年6月に定めた中野区納税貯蓄組合補助金交付条例には「補助金を交付し、納税貯蓄組合の健全な育成を図ることを目的とする」と書かれています。以来、中野区は半世紀以上もこの組合に補助金を交付してきたこととなりますが、最近になって組合名簿に私の名が登録されていることが分かりました。無論、本人に断り無しです。

この組合は区民の納税意識を向上させるために設立されたそうですが、総会の案内も一度もきた例もないし、内部の役員同志が訴訟を起こしているとか。このような組織に大切な区民の税金を補助金として投入することには、はなはだ疑問を感じますが…。との質問に「当団体に対し、はっきりとさせる様に区としての申し入れをする」との回答でした。